



ふれあい西本郷小

令和3年度
4月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和3年4月7日(水)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

令和3年度、65周年のスタートです

春休み中に満開を迎えた桜は、葉桜となり始めました。校庭の花壇には花々が子どもたちの入学、進級を祝うかのように色とりどり咲いています。

お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。本日、83名の新1年生を迎え、全校児童481名で、令和3年度をスタートしました。また、今年度は、本校創立65周年を迎えます。

春は出会いの季節です。人は、新たな出会いを通して自分のよさに気づいたり、周りの人からの刺激を受けたりしながら成長していきます。「人、もの、こと」との出会いは、新たにチャレンジしていこうとする意欲を高めていきます。素敵な出会いを教育活動に取り入れながら、日々、子どもたちの健やかな成長を目指してまいります。子どもたち一人ひとりが安心して毎日を過ごし、それぞれの力を伸ばしていくことができるよう、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら教職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。今年度もご支援、ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



フラワーボランティアさんが整えてくださったお花

さて、昨年度はコロナウィルス感染拡大防止の取組を様々工夫しながら、教育活動を行ってまいりました。今年度も子どもたちが「ウィズコロナ」を学ぶ1年となりそうです。

3月の卒業式は、ご家族が2名まで来校できるようにモニタリング会場を設け実施しました。参加した保護者の方より「2名の家族が入ることができ、一緒に学校に来られたことがよかった。」「卒業証書を受け取る時の顔を見られて、とてもよかった。」等の声をいただきました。そこで、本日の入学式もモニタリング会場を設け、来校していただけるご家族を2名とすることができました。こうした試みは50mのケーブルを体育館から引き、何度もテストを重ねベストな方法を作りました。この方法を試しながら「6年生ありがとう集会」では、各学年の代表が6年生の教室を訪ね、感謝の気持ちを伝えるという生放送のサプライズが実現しました。6年生たちは在校生たちの来訪と寄せ書きのプレゼントに、歓声をあげて喜んでいました。また、例年体力づくり取り組んでいる運動委員会主催の「長縄月間」は、密集を避ける「短縄集会」となりました。上級生とペアになった児童は、短縄の跳んだ回数を数えてもらったり、跳び方ったりして、「二重跳びができるようになった。」と、修了式で嬉しそうに報告して児童もいました。



突然のくりでりを教わってくれた

ウィズコロナの現在、子どもたちは様々な制約など強いられることがかわいそうだと思う現実もあります。しかしその現実をしっかり受け止め、ピンチをチャンスに変え、たくましく生きていく力を学ぶ大きなチャンスと捉え、子どもたちが親の世代となったとき、このウィズコロナの時代を、皆で協力し、乗り越えた経験として語れる大人となってほしいと思っています。

短縄集会でペア学年児童に応援の声をかける様子

そのために、西本郷小学校の教職員一同、さらに工夫と努力をしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。